

令和 6 年 度

事業計画書・収支予算書

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

公益財団法人茨城カウンセリングセンター

令和 6 年度事業計画

1. カウンセリング（こころの相談）

カウンセリングは、当センターの中核事業である。働く人やその家族をはじめ県民の福祉に貢献していく。

来談の他、電話やオンラインでの面接等クライアントの要望に柔軟に対応していく。

2. 個別面接

講師派遣業務が増加し、カウンセリングの時間が削られているが、カウンセラーの増員により前年度並みの件数を確保していく。

(件)

	令和 6 年度計画	令和 5 年度見込み
総面接数	2,450	2,450
うち新規	200	200

3. 牛久ルームでの個別面接

令和 5 年度までは年間最大 36 件の相談枠であったが、1 日の相談枠を 1 枠増やし年間 48 枠とし、県南地区のニーズ増加に応じていく。

(件)

	令和 6 年度計画	令和 5 年度見込み
総面接数	40	33

4. 出張カウンセリング

既往派遣先である茨城県立産業技術専門学院の他 8 先に対し、出張カウンセリングを実施していく。令和 5 年度は新規先 2 先増加、現在も見込み先 2 先有するなどニーズは増加している。

(件)

	令和 6 年度計画	令和 5 年度見込み
総面接数	650	600

5. 講師派遣業務

企業、各種団体、医療機関、学校、官公庁等からの要請により講師派遣を行っている。ハラスメント、メンタル・ヘルス等の研修要請があり、今後も派遣数は増加していくものと思われる。

(件)

	令和 6 年度計画	令和 5 年度見込み
総派遣数	100	80

6. 働きやすい職場環境づくり、コンサルティング業務

産業界向けに各種セミナーを開催する。また、EAP 契約先に対し、コンサルティングを行う。

セミナーは、例年 2 回の開催であったが、今年度は 7 回に増やし、法人会員、サポーター増加につなげていく。

(1) 産業カウンセリングセミナー

人事管理者・社労士・臨床心理士からの視点を踏まえて、現場に即したセミナーとする。

「メンタル・ヘルス不調者への関わり方」

第 1 回 7 月 5 日 (金)

第 2 回 8 月 2 日 (金)

第 3 回 9 月 6 日 (金)

(2) 階層別メンタルヘルスセミナー

第 1 回 5 月 10 日 (金) 新入社員研修

第 2 回 6 月 7 日 (金) 中堅社員向けメンタルヘルス研修

第 3 回 6 月 19 日 (水) 管理職向けラインケア研修

第 4 回 10 月 7 日 (月) 若手社員向けコミュニケーション研修

7. カウンセリングマインドの普及

(1) カウンセリング講座

カウンセリング普及事業の中心と位置づけている講座であり、広報活動強化により受講者数の増加を図る。

(人)

	令和 5 年度実績	令和 6 年度募集
入門コース	47	60
レクチャーコース	51	60
合 計	98	120

(2) セミナー開催

少人数での体験学習を主としたセミナーを、受講者の要望に応じて開催する。

① 傾聴セミナー

開催日：1 月 18 日 (土) 基礎編

2 月 7 日 (金) 基礎編

3 月 8 日 (土) 応用編

② 気功セミナー

開催日：8 月 24 日 (土) 基礎編

9 月 21 日 (土) 応用編

③ アートセミナー

開催日： 7月20日（土）

④ 心理的ワークセミナー

開催日： 10月19日（土）

(3) 通いのエンカウンターグループ in 水戸

年齢や性別、肩書きや地位にとらわれず、ゆったりとした時間の流れのなかで自由な話し合いを行う。自分や他の人の話に耳を傾けることで、生き方や人間関係についての考えを深めていく研修。全国的ネットワークのプログラムと連携し開催する。

開催日： 2月22日（土）～24日（月祝日）

(4) 公開講座

カウンセリング入門講座へのゲートウェイとなる講座を開催する。

県民のためのメンタルヘルス講座 無料

開催日： 9月28日（土）

8. メンタルヘルスに関する調査・研究、情報の提供

(1) 臨床研究会

カウンセラーの研鑽のため、年1回ワークショップを実施する。

(2) 関係学会への参加

カウンセリングに関する研究、情報交換を目的として、下記学会へ参加する予定。

- ・ 日本人間性心理学会
- ・ 人間関係研究会スタッフ会議

(3) 公的機関等への委員派遣

茨城県被害者支援連絡協議会ほか

(4) 出版物等の発行

- ・ 定期情報「メンタルケア・ネットワーク」
- ・ 事業案内
- ・ カウンセリング講座案内の発行

(5) 寄稿文の掲載

茨城新聞の「心の時代へ」、常陽産業研究所季刊誌の連載「職場のメンタルヘルス」他、関係機関等の依頼に応じていく。

9. 会員募集の強化

法人会員の減少に歯止めをかける。また、営業強化により新規会員獲得に努める。個人サポーターについてもホームページやセミナー等で情宣活動を強化していく。

10. その他

大須賀発蔵氏（初代理事長）生誕 100 年の集い

開催日： 11 月 30 日（土）

センター設立の功労者で、県内外にカウンセリングマインドを普及された大須賀発蔵氏に縁のある関係者が集う場を設ける。

センターのサポートに尽力いただいた方々への感謝と交流の場とする。

以上